

災害時に
逃げ遅れないために



個別避難計画 という備え

過去の大きな災害では、高齢者や障がいのある方の被害数が一般の方々より多く見受けられました。災害が発生した後に、どこへどうやって避難するかを考えているだけでは逃げ遅れるかもしれません。日頃から避難の手助けをしてくれる方や避難場所を決めておくことが大切です。

都島区では、災害時に自ら避難することが困難な方々一人ひとりに合わせた避難方法を決めておく「個別避難計画」の作成をすすめています。



個別避難計画って何？



災害が発生した際に、ひとりでは安全な場所に避難することが困難な方に対して、避難先や避難を支援する方などを記載したものです。

近くに住んでいる家族や親せき、近隣の方などのサポートを受け、逃げ遅れないように備えておきましょう。

【注意】 避難を支援する方は必ず避難支援できるとは限りません。法的な責任や義務を負うものではありません。



これが個別避難計画だよ!

避難支援を必要とする具体的な理由を記載します。

緊急時に連絡する必要がある家族や親戚、友人、近所の人などを記載します。

避難支援（安否確認）を行える可能性がある人を記載します。
避難支援（安否確認）者が個人の場合は、個人の情報を記載します。

かかりつけ医や福祉サービスを利用している場合に記載します。

個別避難計画（見本） 作成年月日 ●●年●●月●●日

地域	●●地域	町会エリア	●●町会	作成者	●●●●
フリガナ	ミヤコジマ タロウ	性別	◆性 別		
氏名	都島 太郎	生年月日(年齢)	●●年●●月●●日 生		
住所	大阪府都島区●●町●●-●●				
電話(FAX)	自宅 06-XXXX-XXXX 携帯 080-XXXX-XXXX FAX				
メールアドレス	XXXXXX@●●●.ne.jp				
避難等支援を必要とする理由	自力での避難移動が難しいため				
連絡時の配慮事項	※「防犯する前には、電話連絡をしてから。」「自宅にいない時間」など 訪問前には、電話連絡をしてから。				
緊急時の連絡先					
フリガナ	ミヤコジマ イチロウ	本人との関係	長男		
氏名	都島 一郎				
住所	大阪府都島区●●町●●-●●				
連絡先	自宅 06-XXXX-XXXX 携帯 080-XXXX-XXXX FAX				
◆避難支援（安否確認）者					
フリガナ	キョウバン ジロウ	(部氏名及び代表者でも可)			
氏名	京橋 次郎				
区分	□親族() □近隣 □町会 □その他()				
住所(連絡先)	大阪府都島区●●町●●-●●				
◆避難支援（安否確認）者					
フリガナ	(部氏名及び代表者でも可)				
氏名					
区分	□親族() □近隣 □町会 □その他()				
住所(連絡先)					
◆避難支援（安否確認）者					
フリガナ	(部氏名及び代表者でも可)				
氏名					
区分	□親族() □近隣 □町会 □その他()				
住所(連絡先)					
かかりつけ医	医療機関名	●●内科	電話		
	医療機関名	●●整形外科	電話		
	医療機関名		電話		
ケアマネジャー	事業所名	桜ノ宮ケアセンター	桜宮 花子	電話	
相談支援専門員	事業所名	中野サービス	中野 真	電話	
	事業所名			電話	
福祉サービス事業所等	事業所名			電話	
	事業所名			電話	

※避難支援（安否確認）者による災害時の避難支援を保障するものではありません。
また、避難支援（安否確認）者は、避難支援について法的な責任や義務を負うものではありません。

世帯状況	一人暮らし	河川氾濫	浸水深	1.5メートル(浸川)
同居家族等ありの割合の状況	※父・母・夫・妻・長男・長女 など 同居家族無し	津波	浸水深	2メートル
建築時期	25年 構造 木造(非木造(鉄筋))	高潮	浸水深	1メートル
普段いる部屋	リビング	□戸別住宅 □集合住宅(階建ての 階)		
救急カプセル	□あり □なし	緊急通報システム	□あり □なし	
使用薬	※医療機関名・薬の名前・1日量・飲むタイミング(朝・昼)など インスリン			
医療機器及び福祉用具	※つえ・車いす・酸素ボンベ使用 など 車イス			
治療中の病気等	糖尿病			
特記事項	※その他、支援に必要な事項があれば、こちらに記載してください。			
◆避難場所				
一時避難場所	●●公園	広域避難場所	淀川河川敷	
災害時避難所	●●小学校	津波避難ビル	●●ビル	
★避難経路・注意点				
避難準備にかかる時間・避難先への移動時間	1時間	避難先への携行品及び家での置き場所	寝室押入	
移動時に必要な配慮事項	※「車いすでの移動が必要」など 車イスでの移動が必要			
避難生活における配慮事項	※「耳が聞こえにくく、大きな声で話しかける」など 耳が聞こえにくい			

お住まいの場所の被害想定を記載します。

災害時に安否確認をしやすいするために記載します。

防災マップや水害ハザードマップを参考に、避難場所を記載します。

災害時に落ち着いて避難できるよう、あらかじめ自宅から避難場所までの簡単な経路を記載します。わかりやすい目印があればあわせて記載します。

避難時に必要となる配慮を記載します。

避難所生活で配慮が必要なこと(食事でのアレルギーや疾患があるなど)があれば記載します。

Q どういった方が対象なの?

A 介護が必要な方、日常生活に支援が必要な方、医療機器が常に必要な方です。

Q どんな支援が受けられるの?

A 災害発生時に個別避難計画に記載されていることに基づき安否確認をし、必要があれば安全な場所への避難を支援します。

Q 必ず助けが来てくれるの?

A 災害時は、支援者も被災し、支援活動ができないことも考えられますので、必ずお約束するものではありません。

※詳しく知りたい方は、下のリンクか電話でお問い合わせください。



都島区役所防災担当
☎06-6882-9902